

Canon

EF レンズ

EF40mm F2.8 STM

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

EF40mm F2.8 STM は、小型軽量で薄型の高画質な標準単焦点レンズです。

● STM は Stepping Motor (ステッピングモーター) の略称です。

▲ 安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

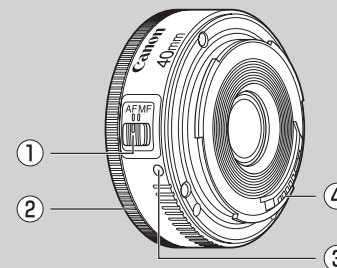
- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にご注意ください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

撮影上のご注意

- このレンズは、フォーカスレンズ（ピント合わせを行う役割のレンズ）の駆動にステッピングモーターを用いています。
 1. 電源が入っていない状態でのご注意
電源を切った状態やオートパワーオフで電源が切れた状態では、モーターが作動しないため、次のことにご注意ください。
 - ・ マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
 2. レンズの休止状態でのご注意
このレンズは、レンズを操作しない状態が続くと節電のため、カメラのオートパワーオフとは別に休止状態になります。カメラの電源が入っていても、レンズが休止状態の時にはモーターが作動しないため、次のことにご注意ください。
 - ・ マニュアルフォーカスでのピント調整はできません。
 - ・ レンズの休止状態からの復帰には、シャッターボタンを半押ししてください。
- 繰り出されたレンズを収納するには、レンズをカメラに取り付けた状態で、∞に AF を行うか、フォーカスリングを操作してください。
- このレンズを EOS-1D Mark IV に装着して撮影される場合は、EOS-1D Mark IV のファームウェアを、Version 1.1.1 以降のものに変更してください。そのファームウェアに変更することで、露出精度が適正化されます。
- EOS フィルムカメラを使用する場合には、電池残量が少なくなった状態や、使用環境の温度が低い状態になると、フォーカスの動きが遅くなる場合があります。

各部の名称

- ① フォーカスモードスイッチ
- ② フォーカスリング
- ③ レンズ取り付け指標
- ④ 接点



- AF フレームの選択について
下記カメラでは、中央 AF フレームで高精度のクロス (+) 検出、中央 AF フレーム以外では横線検出が使用できます。
EOS-1Ds Mark III、EOS-1Ds Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D Mark IV、EOS-1D Mark III、EOS-1D Mark II N、EOS-1D Mark II、EOS-1D、EOS-1V、EOS-3

本文中のマークについて

- 撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。
- 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

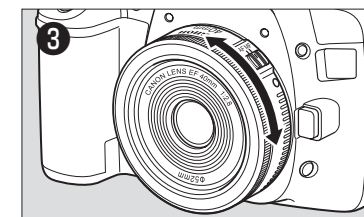
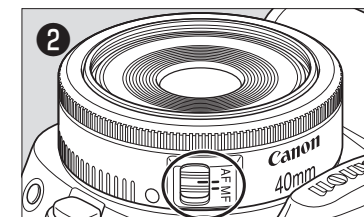
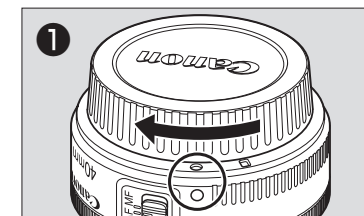
- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。(図①) 取り外しは、逆の手順で行います。

2. フォーカスモードの設定

オートフォーカス(AF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチを AF にします。(図②) マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチを MF にし、フォーカスリングを回してピントを合わせます。(図③)

- カメラの AF モードが ONE SHOT AF のときは、AF 後に、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

- フォーカスリングを急回転させた場合、ピント調整が遅れることがあります。
- 電源が切れた状態では、MF でのピント調整はできません。
- AF 作動中は、レンズ前側の作動部分に触れないでください。



3. レンズフード（別売）


レンズフード ES-52 は、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

レンズフードの取り付けは、レンズ前面のフィルター取り付けネジ部（φ 52mm）、またはあらかじめレンズに装着されたフィルター（前面にフィルター取り付けネジ部が無い旧タイプのキヤノン製円偏光フィルターをのぞく）前面のネジ部（φ 52mm）にしっかりと取り付けてください。（図 4）

 フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。


4. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ前面またはレンズフード前面のフィルター取り付けネジ部（φ 52mm）に取り付けてください。

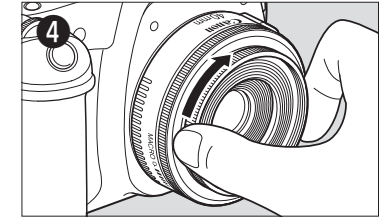
-  ● フィルターは 1 枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター PL-C B（φ 52mm）を使用してください。
- フードとフィルターを取り付ける順番はどちらが先でも使用できます。

5. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブ EF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率はエクステンションチューブ仕様表を参照してください。

 正確なピント合わせのため、MF をおすすめします。

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示 +21.5mm（レンズキャップが E-52 の場合） / +23.9mm（レンズキャップが E-52 II の場合）になります。
- エクステンダーは使用できません。
- クローズアップレンズは使用できません。（レンズの先端が重くなり、フォーカスの動きが不安定になるため。）
- レンズケースは、レンズケース LP811（別売）を使用。



アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛りはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打ち切り後 7 年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EF レンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002（直通）

受付時間〈平日〉9:00～20:00〈土/日/祝〉10:00～17:00
〈1/1～3 は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または 050 から始まる IP 電話番号をご利用いただけない方は 03-3455-9353 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

エクステンションチューブ仕様表 （別売）

EF40mm f/2.8 STM		撮影倍率 (X)	撮影距離範囲 (mm) (inch)
	EF12 II	0.32-0.50	175-217 (6.9-8.5)
EF25 II	0.70-0.88	156-164 (6.1-6.5)	

レンズ仕様一覧表

* 別売

	画 角			レンズ構成	最小絞り	最大撮影倍率	最短撮影距離	フィルター径	最大径×長さ	質 量	フード*	レンズキャップ	ケース*
	対 角	垂 直	水 平										
EF40mm f/2.8 STM	57°30'	34°	49°20'	4-6	22	0.18x	0.3m/0.98ft	52mm	68.2x22.8mm (2.7"x0.9")	130g/4.6oz.	ES-52	E-52/E-52 II	LP811